

回答日：令和8年6月19日

東近江市長 小 椋 正 清

質 疑 回 答 書

業務名 令和8年度 第2044号 蛇溝町地先ほか水道管布設替設計業務

No.	項目	質疑事項	回答
1	【参考資料】 積算条件明示書	水管橋（N=2）の設計条件について、本水管橋は、基本構造物になりますか、類似構造物になりますか、それとも基本構造物・類似構造物それぞれ1橋ずつになりますか。ご教示をお願い致します。	基本構造物としている。
2	【参考資料】 積算条件明示書	水管橋20mにつきまして、総延長の580mに含まれていますでしょうか。	含まれている。
		また、含まれている場合、開削工法に推進工法・水管橋が含まれる場合の補正（1-20/580）は適用されていますでしょうか。	適用していない。
3	【参考資料】 積算条件明示書	水管橋のパイプビーム工法につきまして、橋梁添架方式だと思われそうですが、橋梁化方式の補正值は適用されていますでしょうか。	パイプビーム形式としている。
4	【参考資料】 積算条件明示書 (3) 橋梁添架	水管橋上部工詳細設計（パイプビーム形式）は、橋梁添架形式として積算されていますか。	パイプビーム形式としている。
		また、下部工の設計が必要となった場合、設計変更の対象となりますか。	設計変更の対象とする。
5		当該地近傍に貸与可能な土質調査資料はありますか。	他事業の土質調査資料を貸与する。
6		仕様書では、水管橋設計における橋台工の検討業務が明示されていませんが、本業務に含まれますか。	必要となれば設計変更の対象とする。
7		工学的基盤面が確認できる既存の土質資料は貸与されますか	他事業の土質調査資料を貸与する。
8		【参考資料】積算条件明示書では (3) 橋梁添架 形式：パイプビーム形式 橋長：L=10m×2 となっております。 積算上の考え方として、1橋（基本構造物）L=10m、1橋（類似構造物）L=10mと考えると積算計上してよろしいのでしょうか。	2橋とも基本構造物としている。